

大きな古時計

大きなのっぽの古時計 おじいさんの時計
百年いつも動いていた ご自慢の時計さ
おじいさんの生まれた朝に 買って来た時計さ
今はもう動かない その時計

※百年休まずに チクタク チクタク

おじいさんと一緒に チクタク チクタク

今はもう動かない その時計

何でも知ってる古時計 おじいさんの時計
きれいな花嫁やってきた その日も動いてた
嬉しいことも悲しいことも みな知ってる時計さ
今はもう動かない その時計

(間奏)

真夜中にベルがなった おじいさんの時計
お別れの時が来たのを みなに教えたのさ
天国へのぼるおじいさん 時計ともお別れ
今はもう動かない その時計

※(くり返し)

今はもう動かない その時計

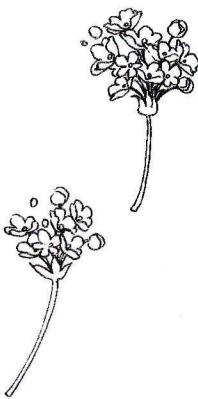
この広い野原いっぱい

この広い野原いっぱい 咲く花を
ひとつ残らず あなたにあげる
赤いリボンの花束にして

この広い夜空いっぱい 咲く星を
ひとつ残らず あなたにあげる
虹にかがやく ガラスにつめて

この広い海いっぱい 咲く船を
ひとつ残らず あなたにあげる
青い帆に イニシャルつけて

この広い世界中の 何もかも
ひとつ残らず あなたにあげる
だから私に 手紙を書いて 手紙を書いて



白い色は恋人の色

花びらの白い色は 恋人の色
なつかしい白百合は 恋人の色
ふるさとのあの人の
あの人の足元に咲く白百合の
花びらの白い色は 恋人の色

青空の澄んだ色は 初恋の色
どこまでも美しい 初恋の色
ふるさとのあの人と
あの人と肩ならべ見たあの時の
青空の澄んだ色は 初恋の色

夕焼けの赤い色は 思い出の色
涙でゆれていた 思い出の色
ふるさとのあの人の
あの人のうるんでいた瞳にうつる
夕焼けの赤い色は 思い出の色
思い出の色 思い出の色

涙そうそう

古いアルバムめくり ありがとうってつぶやいた
いつもいつも胸の中 はげましてくれる人よ
晴れ渡る日も雨の日も うかぶあの笑顔
思い出遠くあせても
おもかけ探して よみがえる日は涙そうそう

一番星に祈る それが私のくせになり
夕暮れに見上げる空 心いっぱいあなた探す
悲しみにも喜びにも 思うあの笑顔
あなたの場所から私が
見えたら きっといつか会えると信じ生きてゆく
ラララ...

晴れ渡る日も雨の日も うかぶあの笑顔
思い出遠くあせても
さみしくて恋しくて 君への想い涙そうそう
会いたくて会いたくて 君への想い涙そうそう

あの素晴らしい愛をもう一度

命かけてと誓った日から
素敵な思い出残してきたのに
あの時同じ花を見て美しいと言った二人の
心と心が 今はもう通わない
あの素晴らしい愛をもう一度
あの素晴らしい愛をもう一度

赤とんぼの歌を歌った空は
なんにも変わっていないけれど
あの時ずっと夕焼けを追いかけに行った二人の
心と心が 今はもう通わない
あの素晴らしい愛をもう一度
あの素晴らしい愛をもう一度

広い荒野にポツンというよで
涙が知らずにあふれてくるのさ
あの時風が流れても変わらないと言った二人の
心と心が 今はもう通わない
あの素晴らしい愛をもう一度
あの素晴らしい愛をもう一度

ふるさと

うさぎ追いし かの山
小ぶな釣りし かの川
夢は今もめぐりて
忘れがたき ふるさと

いかにいます 父母
つつがなしや 友垣
雨に風につけても
思い出ずる ふるさと

志（こころざし）を果たして
いつの日にか 帰らん
やまは青き ふるさと
水は清き ふるさと

